

特集

罰

「罰」という言葉は、私たちの生活のいたるところに顔を出します。ドライバーの中には、これまでに交通違反などで「罰」金を支払ったことのある方は多いのではないのでしょうか。凶悪な犯罪を犯した者に対し、被害者やその家族が厳「罰」を求めます。教育現場での体「罰」は古くから問題視されていながら、いまだに無くなりません。パーティーやコンパの席でゲームに負けた人は「罰」ゲームを受けることもあります。

心理学のなかでも、この「罰」という言葉は幅広い分野で取り上げられるテーマです。「罰」はヒトから無脊椎動物の行動にまで影響を及ぼすオペラント条件づけの基本法則の一つであり、教育やしつけの場面、司法などの社会システムの中など、様々な場面・レベルでいろいろな行動に影響を及ぼします。また、私たち自身の行動が罰されるだけでなく、私たちが他者を罰する立場に立つことも往々にしてあります。

今回の特集では、様々な観点から、この多彩な顔を持つ「罰」という言葉にスポットライトを当てます。

(漆原宏次)